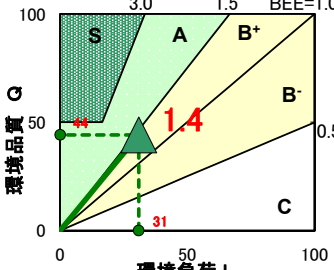
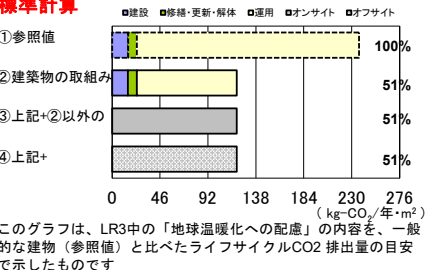
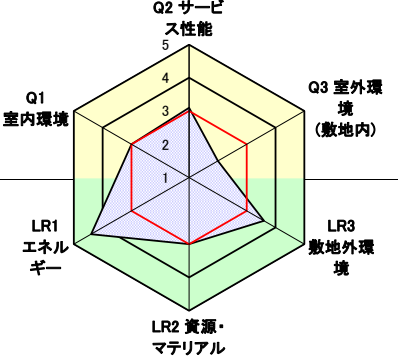
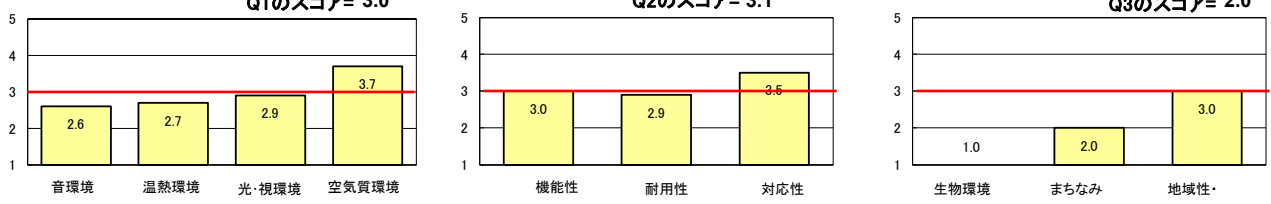
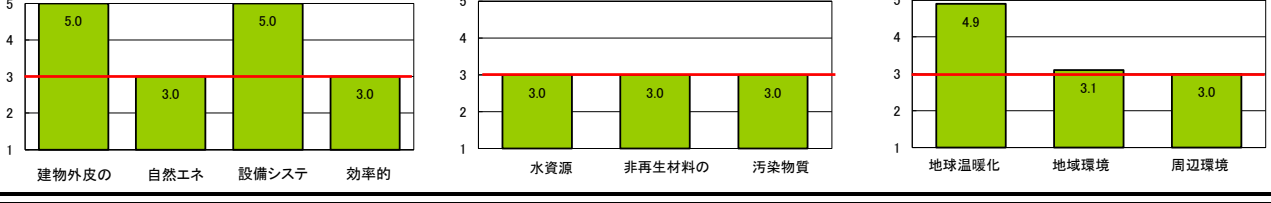


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西明石駅南口ビル	階数	地上3F
建設地	明石市西明石南町二丁目561番23号	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2024年4月1日
敷地面積	1,261 m ²	作成者	西日本旅客鉄道株式会社 一級建築士事務所
建築面積	866 m ²	確認日	2024年4月1日
延床面積	2,403 m ²	確認者	西日本旅客鉄道株式会社 一級建築士事務所
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 1.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 		標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		2-4 中項目の評価(バーチャート)	
		Q のスコア = 2.7 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) 	
LR のスコア = 3.7 LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 		3 設計上の配慮事項	
総合 ZEB Ready取得のため、外皮熱負荷と一次エネルギー消費量の削減に配慮した設計をしている		その他 0	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆を使用し、空気質汚染を回避するよう配慮している		Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせ、先を見据えた対応や更新のしやすさに配慮している	
Q3 室外環境(敷地内) 特になし		Q3 室外環境(敷地外) エネルギー消費量を抑え、ライフサイクルCO ₂ の排出率の低減に配慮している	
LR1 エネルギー Low-Eガラスを使用し建物外皮の熱負荷を軽減させ、各設備機器に制御を見込み一次エネルギー消費量を抑えるよう配慮した設計をしている		LR2 資源・マテリアル 特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される